

登録コード	TSC04600	開講年度	2026				
授業科目	分子集合体化学演習					担当教員	奥村 幸久
英文授業名	Supramolecular Chemistry Seminar					副担当	佐伯 大輔
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】					⇔	【授業の達成目標】
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ						
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力					⇔	環境調和社会を構築し維持するのに必要と考えられる分子集合体に関する高度な専門知識を収集し, 様々な課題の解決への手がかりとすることができるようになる.
(2)授業の概要	以下の内容を主とする. （１）研究グループ内における研究会・文献会に参加し, 特別研究の進捗状況, 関連研究の状況等について発表・討論する. また, 他の学生の研究についての討論に参加する. （２）特別研究の成果にもとづいて発表の準備をおこなう. 発表は中間発表（１年生）, また希望し指導教員に認められた場合にはこれに学会発表を加える.						
(3)授業計画	詳細は授業時に指導教員が説明する. 1. 授業についての説明 2－20. 研究会・文献会（うち5回は特別研究の進捗に関する発表） 21－30. 発表の準備 原則として学期中週1回開講する. 授業アンケートがあれば実施する. ＜課題＞ 研究会および文献会の資料の提出（発表回の前日まで） 発表スライドの提出（発表練習まで）						
(4)成績評価の方法	成績は（１）への参加状況（50%程度）および（２）と（３）の実施状況（50%程度）に基づいて評価し, 60点以上を合格とする. 評定は信州大学の基準に従い5段階にておこなう.						
(5)成績評価の基準	科目の達成目標に最低限達していれば「水準にある」, 概ね達していれば「やや上にある」, 十分に達していれば「かなり上にある」, ほぼ完全に達していれば「卓越している」とする.						
(6)事前事後学習の内容	（１）研究グループ内における研究会・文献会の準備として, 特別研究の進捗状況報告書, 文献のまとめ等を用意する. また, 研究会・文献会で出た意見について考察する. （２）スライド作成など, 発表の準備をおこなう.						
(7)履修上の注意	履修にあたっては科目担当教員および指導教員の了解が必要である.						
(8)質問,相談への対応	随時受け付ける.						
(9)その他							
【教科書】	指定しない.						
【参考書】	指定しない.						